

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

| | |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研究課題名 | 有鉤骨鉤骨折の受傷メカニズムに関する後方視的検討 |
| 研究責任者 | 鈴木 歩実 |
| 研究実施体制 | 整形外科 |
| 研究期間 | 臨床研究審査委員会承認日～2022年12月31日 |
| 対象者 | 2008年1月1日～2022年7月1日の間に当院で有鉤骨鉤骨折と診断され、その際にCTを実施した患者さんが対象です。 |
| 研究の意義・目的 | 目的は受傷機転と骨折形態との関連について調査し、どのような力で骨折が起こっているか検討することです。特に本骨折は野球選手のバッティング動作に伴い起こることが多く、本研究結果が骨折の予防に役立つ可能性があります。 |
| 研究の方法 | 対象患者さんの性別、ご年齢、受傷機転、利き手、スポーツ選手の場合はどのように手を使用しているか、CT所見を調査し、上記を検討します。 |
| 個人情報の取扱い | 本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 個人情報開示に係る手続き | 個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。 |
| 資料の閲覧について | ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 問い合わせ窓口 | 聖隷浜松病院 整形外科 鈴木 歩実 TEL:053-474-2222(代表) 整形外科外来 9:00～17:00 平日 |